

私立大学図書館協会東地区研究部
2006年度第6回運営委員会議事録

日時 : 2006年11月10日(金) 11:10~12:55
場所 : 法政大学 多摩キャンパス 百周年記念館(13号館)第1会議室
出席者 : 秋沢久美子(駒澤大学)、五十嵐明子(法政大学)、石原智子(慶應義塾大学)、
久世泰子(東京経済大学)、佐藤研一(立正大学)、長岡三智子(早稲田大学)、
野口真生(大正大学)、前之園香世子(昭和女子大学)
齊藤 毅、渡辺美好、相田 勉、笹岡文雄(研究部担当理事校・国士館大学)

議題 :

1. 2006年度第2回運営委員・研究分科会代表者合同会議について
研究部担当理事校より、次の合同会議は資料1~7、10に基づいて進めたいとの説明があり、了承された。
2. 2006年度研究会(交流会)の運営について
研究部担当理事校より、2006年度研究会(交流会)は資料1、8-1~5に基づいて進めたい、また北海道地区研究分科会を除きすべての研究分科会がこれに参加されるとの報告があり、了承された。
3. 2006年度研究分科会夏期研究合宿(集中研究会)実施報告について
月例会担当理事校より、資料2-1~14に基づき夏期研究合宿(集中研究会)について報告があり、合宿を実施したのは5研究分科会、集中研究会の実施は5研究分科会、ともに実施しなかったのは4研究分科会であった。また、実施報告書の内容が具体的でない研究分科会もあったとの指摘もあった。
研究分科会代表から「夏期研究合宿は必須か」との質問があったとの報告について検討した結果、「実施できる研究分科会はしていただく」と回答することで了承された。
4. 分科会助成金の改訂について
研究部担当理事校より、資料4-1~3に基づき、分科会助成金改訂の提案があった。研究分科会会員の金銭上の負担を軽減して会員増加を図ることを目的に、(1)割増助成額を一人当たり1,500円から5,000円に増額する。(2)多額の次年度繰越金を抱えている研究分科会は、割増助成額を当年度4月中に辞退することができる。このことは「研究分科会マニュアル」には記載しないで合同会議で口頭説明する。(3)合宿費のうち、宿泊費・旅費交通費以外は助成金の使用が認められているので改めて説明したい、との報告があり、了承された。これに伴い、「研究分科会マニュアル」の関連文言の改訂が承認された。
5. 研究分科会予算の支出について
研究部担当理事校より、資料5に基づき、「研究分科会の会計処理に関するガイドラ

イン」で規定されている会合費の飲食代を年間一人当たり 2,000 円から 3,500 円に増額する、合宿費とは別に新規支出科目として懇親会費を設け年間一人当たり使用金額を 2,000 円にしたいとの提案があり、検討した結果、ともに承認された。

6. 研究分科会運営上の問題点について

研究部担当理事校より、資料 6-1~2 に基づき、2つの研究分科会から運営上の問題点について提起があったとの報告があった。検討した結果、(1) 研究活動、研究報告大会のあり方についてはこの後の合同会議でいくつか提案して意見を訊く、(2) グッズ販売等で立替が必要な場合は研究部で立替が可能、(3) パスファインダーバンクの件に関しては継続審議することとし、また部会役員会に諮ってみる、と回答することです承された。

7. 2007 年度研究分科会報告大会の意見について

研究部担当理事校より、資料 9 に基づき、2007 年度研究分科会報告大会について要望があったとの報告があった。要望者の希望により次の合同会議の議題とはせず、発表方法・時間配分については、次年度の行事であるため次期運営委員会に検討を委ねることとした。

8. 2007 年度研究講演会の講師と演題について

研究部担当理事校より次年度研究講演会のテーマと講演者について意見が求められたが決まらず、11 月末までに再度推薦してほしい旨要望があった。

9. 研究分科会会員追加募集について

月例会担当理事校より、前回の運営委員会で決まった研究分科会会員の追加募集については次の合同会議で説明し希望する研究分科会を募りたい、との報告があった。追加会員の研究分科会参加時期を検討した結果、来年 4 月からの入会です承された。

以 上